

節水システム「スイット」レンタル、定期点検・設置事例集No.11

場所 某スーパー精肉カランのお湯
問題点 カラン水栓本体がぐらついており、普段の使用に支障が生じていた
対処方法 シンク下から潜り込み、専用工具で増し締めを行なう



よく見かける、立形水栓(カラン本体)です。
一般家庭ではなく、スーパーマーケットや飲食店での厨房では、頻繁に蛇口の
開け閉めが行われます。それにより、設置した当初に下から締め付けたナットが
徐々に緩んでいき、グラグラの状態になります。
実は、これ結構見かけます。意外と使う時は面倒なものです。また、ぐらついている
と言う事は、シンクとカラン本体に隙間が出来ているので、水も浸入します。
しかしながら、固定する方法は、ただ1つ。。。
潜り込んで、下から締め付ける事です。



これ、見た目以上に大変な作業です。
シンク下は、それ程スペースもないので、狭い空間での作業となります。
ただ、これしか方法がないので、いつも潜り込んで作業しています！！

このように、弊社の節水システムの点検も、もちろんですが、私共は、節水は当然の事
水廻りの環境改善に努めており、いかに厨房で働く方が、気分よく使って頂けるかを
最優先して設置・点検を行っております。